

## 特定販売業者実績報告記載要領（登録業者用）

はじめに

この報告書は、塩事業法第3条（塩需給見通し）を補完するとともに、国内における塩の需要量及び供給量の現状を正確に把握するために実施するものであるため、ご協力の程よろしくお願いいたします。

なお、すべての区分について実績がない場合も必ず「実績なし」と記入のうえ提出してください。

### 注意事項

報告期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日までの輸入数量、販売数量（製品等の受渡しが終了しているもの）及び在庫数量等について記入してください。

単 位 全ての報告書について「トン」単位で記載をお願いします（トン未満は小数点以下第2位を四捨五入し、第1位まで記載してください）。**実績がない場合は空欄**とし、実績がある場合でも四捨五入により販売数量等が「0」となる場合は、空欄とはせずに、「0.0」と記入してください。

特殊用塩を輸入・販売等した場合は、別紙様式6には含めず、別紙様式6付表2を作成してください。

## 別紙様式 6 及び付表 1 記載要領

### 1. 全般

- (1) 様式 6 及び付表 1 は、特殊用塩以外について記載してください。
- (2) 原産国が 6 か国以上に及ぶときは、ファイルを 2 つ作成し、2 つ目のファイルに 6 か国目以降の実績を記入してください。
- (3) 黄色く塗られているセルにのみ記入できます。例外として、「その他の内容を記載⇒」のセルだけは、「その他」に数値が記入されていながら内訳（用途）が記入されていない場合に限り黄色く塗られます。
- (4) 色のついていないセルは合計値等を自動的に記入するよう設定されています。編集しないでください。
- (5) 実績のないシートについては何も記入せず、シートの削除もしないでください。  
ただし、①日付・②報告対象の年度・③提出先税関名・④登録番号・⑤事業者名は、シート「別紙様式 6（関税有税品）」に記入した内容が他の全てのシートに反映されます。そのため、関税有税品の実績がない場合でも、①～⑤の項目だけは「別紙様式 6（関税有税品）」に記入してください。

### 2. 別紙様式 6

- (1) 作成する報告書の種類は、原則として以下の 3 種類です。
  - ①関税有税品（精製塩等） → 「別紙様式 6（関税有税品）」に記入
  - ②関税無税品（原塩等） → 「別紙様式 6（関税無税品）」に記入
  - ③総計（①+②） → 「別紙様式 6（総計）」に有税品・無税品の合計が自動的に反映される
- (2) 6 年度末在庫数量は、前年に報告した「塩販売数量等報告書」の 6 年度末在庫数量と必ず一致させてください。
- (3) 「販売数量」の「その他」について、該当項目が複数ある場合は、「その他」に合計数量を、「その他の内容を記載⇒」に最も数量が多い項目を記載し、それ以外の項目と数量については、合計数量を記載したセルにコメントを付して記入してください。
- (4) 「消費者への販売分」または「自己使用数量」（特殊用塩製造分を除く）がある場合は、付表 1 をそれぞれ別葉で作成してください。
- (5) 「消費者への販売分」の各欄の項目については、付表 1 の各項目に記入した数値が反映されます。

### 3. 付表 1

(1) 生活用及び業務用の区分について、明確な基準は定められていませんが、概ね下記の区分を参考にしてください。

- ・生活用・・・主に小売店を通じて販売され、一般家庭及び生業用に消費されることを想定しているもの。(小売店を含む。)
- ・業務用・・・生活用以外のもの(食品工業用、工業用、ソーダ工業用、融冰雪用等)

(2) 付表 1 の原産国を記入するセルは、別紙様式 6 と以下のように一致させてください。

- ・付表 1 (1 枚目) の左端 (C～E 列) →別紙様式 6 の E 列
- ・付表 1 (1 枚目) の中央 (F～H 列) →別紙様式 6 の F 列
- ・付表 1 (1 枚目) の右端 (I～K 列) →別紙様式 6 の G 列
- ・付表 1 (2 枚目) の左端 (C～E 列) →別紙様式 6 の H 列
- ・付表 1 (2 枚目) の中央 (F～H 列) →別紙様式 6 の I 列

## 別紙様式 6 記載要領

区分	記載要領		
6年度末在庫数量	輸入した塩のうち、6年度末に在庫となった数量を記載すること。		
7年度受入数量	7年度において一般用塩として輸入した数量を記載すること。		
7年度 販売数量	塩卸売業者への販売分	7年度において塩卸売業者に販売した数量を記載すること。	
	塩製造業者への販売分	7年度において塩製造業者に販売した数量を記載すること。	
	塩事業センターへの販売分	7年度において直接塩事業センターに販売した数量を記載すること。	
	消費者への販売分 (小売店業務用消費者も含む)	一般消費者（生活用）	主に小売店を通じて販売され、一般家庭及び生業用に消費された数量。付表1の「生活用」の数量が反映される。
		食品工業用	食品工業用として直接販売した数量を記載すること。付表1の「食品工業用」の数量の合計が反映される。
		工業用	工業用として直接販売した数量を記載すること。付表1の「工業用」の数量の合計が反映される。
		ソーダ工業用	ソーダ工業用として直接販売した数量を記載すること。付表1の「ソーダ工業用」の数量の合計が反映される。
		融氷雪用	融氷雪用として直接販売した数量を記載すること。付表1の「融氷雪用」の数量の合計が反映される。
		その他	上記の区分に当てはまらないものを記載すること。付表1の「その他」の数量の合計が反映される。
	計		
その他	輸出	上記の販売先以外で輸出・減耗・その他に該当するもの見込数量を記載すること。 また、「その他」に記入した場合は下段の「その他の内容を記載⇒」に内容を記入すること。	
	減耗		
	その他		
	「その他」の内容を記載⇒		
合計			
7年度自己使用数量	7年度において、自己使用があった場合は付表1を作成すること。付表の合計数量が反映される。 また、特殊用塩等の製造の場合は「製」、自社の他製品の原料に使用の場合は「消」、その他は「他」とセルにコメントを付すこと。		
7年度末在庫数量	7年度受入数量と6年度末在庫数量の合計から7年度の販売数量と自己使用数量を引いた数値が自動で入力される。		

## 付表 1 記載要領

○下記の表の内容を参考に記載すること。なお、「消費者への販売分」及び「自己使用数量」はそれぞれ別業で作成すること。

区分	内容(例)
生活用	家庭用及び飲食店等(生業用)において使用されるもの
食品工業用	(食品工業用に消費されるもの)
漬物	
みそ	
しょう油アミノ酸	
水産	漁獲物塩蔵用、塩干魚類製造用、遠洋沿岸捕鯨用、魚類鮮度保持、切こんぶ等海水産物一次加工用
調味	ソース、食酢、マヨネーズ、ケチャップ、化学調味用原料塩、特殊用塩(食用以外は除く)
めん類	うどん、そば、マカロニ、スパゲティ、即席めん
パン・菓子類	パン類、菓子類、パン粉、落花生
加工食品	乳製品(バター、チーズ、マーガリン、ミルク、カルピス)、肉製品(ハム、ベーコン、ソーセージ)、練製品(かまぼこ、はんぺん、ちくわ、生揚、なんば焼)、つくだ煮(つくだ煮、支那竹の加工)、びん詰・缶詰(肉製品、海水産物、果実、野菜等のびん詰・缶詰)その他食品(カレーの素、スープの素、珍味加工、チャーハンの素等上記に属さない食品加工用)、ソーセージの皮、浅漬けの素等
その他食品工業	食料用で上記に属さないもの
工業用	(工業用に消費されるもの)
染料・顔料	合成染料、染料中間体、ヒドロサルファイト、人工色素、顔料、ベンガラ、塩化亜鉛
化学薬品	珪弗化ソーダ、塩素酸ソーダ、除草剤、青化石炭、代用甘味、その他化学薬品(試薬塩含む)
皮革	獣魚皮のなめし用、保存用
油脂	石けん、ロート油、乳化油、洗剤
イオン交換剤再生	砂糖の精製、硬水軟化、製紙・パルプ等のイオン交換剤再生用
その他工業用	工業用で上記に属さないもの(香料、冷却用、合成ゴム、火薬、窯業、工業、染色等)
ソーダ工業用	
融氷雪用	グラウンドコート、融氷雪、道路等の塩処理用
家畜用	飼料として家畜に使用されるもの(家畜、家禽の栄養剤、鉱塩を含む)
医薬用	局方塩、浴用塩を含む
その他	食料用、工業用、ソーダ工業用、融氷雪用、家畜用、医薬用等に属さないもの(教材、研究用、試験用、農業用等)

## 付表 2 記載要領

1. 付表 2 は、特殊用塩について記載してください。

### 2. 記載要領

#### (1) 「用途」欄

その塩の最終消費段階において想定される用途をいいます。

例えば、同一製品であっても、一般家庭において使用されることを想定したものであれば「生活用」、菓子の原料として使用されることを想定したものであれば、「パン・菓子」に該当します。

用途別区分については、第 2 面に記載の「用途別分類表」を参照し、該当するものを 1 つ記載してください。用途が複数ある場合は、お手数ですが用途ごとに欄を分けて記載してください。

#### (2) 「区分」欄

プルダウンリストから選択する形式となっています。第 3 面に記載の「特殊用塩の区分」「特殊製法塩の区分」を参照し、該当するものを 1 つ記載してください。なお、「4-7」に該当する塩については、販売先の限定方法等の現況を備考欄に記載してください。

※「4-7」に該当する塩は、一年間に合計 100 トンまでしか販売できません。

#### (3) 「輸入数量」欄

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日の間における輸入数量を、塩の種類ごとに記載してください。

#### (4) 「販売等数量」欄

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日の間における販売数量（卸売業者、小売店、消費者への販売分）を塩の種類ごとに記載してください。なお、自己使用、廃棄、輸出、減耗も、販売等数量に含めてください。

別紙様式 6

有税品、無税品ともに扱っている場合は、それぞれ作成し、総計も作成(合計3枚作成)。

東京 税関長 殿

令和 7 年度 塩販売数量等報告書

登録番号は送付封筒の宛名欄に記載あり。数字のみ入力。

令和8年4月1日

2026/04/01 の形式で入力。

※ 特殊用塩を輸入・販売又は自己使用した場合は、この別紙様式6には計上せず、別紙様式6付表2に記載してください。

登録番号：東京税関長第 ○○○号

塩特定販売業者名：株式会社カスタム

※ 黄色網掛け箇所のみ入力。

[種類： 関税有税品

(単位：トン)

科目	原産国	イタリア	合計	
6 年度末在庫数量 ①		7.2	7.2	
7 年度受入数量 ②		13.2	13.2	
塩卸売業者への販売分				
塩製造業者への販売分				
塩事業センターへの販売分				
7 年度販売数量 (小売店への販売も含む) ⇒内訳を別紙様式6付表1へ	一般消費者 (生活用)	8.4	8.4	
	業務用消費者	食品工業用	4.1	4.1
		工業用		
		ソーダ工業用		
		融冰雪用		
	その他	0.5	0.5	
計	13.0	13.0		
その他	輸 出			
	減 耗			
	そ の 他			
「その他」の内容を記載⇒				
合 計 ③				
7 年度自己使用数量 ⇒	内訳を別紙様式6付表1へ ④	0.2	0.2	
7 年度末在庫数量		7.2	7.2	

受渡が完了している分。

「令和6年度末在庫数量」の数値が税関に報告済みの数値と同じであるか必ずチェックし、異なる場合は理由を余白に記載して提出してください。

単位はトンで、小数点以下第2位を四捨五入し、第1位まで記載(1トン=1,000kg)、40kgの場合は0.0となります(40kg=0.04トン→小数点以下第2位を四捨五入→0.0)。同様に50kgの場合は0.1となります。

「消費者(小売店)への販売」がある場合、内訳を別紙様式6付表1に記載(ここには入力しない)。

「自己使用数量」がある場合、内訳を別紙様式6付表1に記載(ここには入力しない)。

「7年度末在庫数量」=①6年度末在庫数量+②7年度受入数量-③販売等数量-④自己使用数量

- (備考) 1. 種類は、「関税有税品」(例：精製塩等)、「関税無税品」(例：原塩等)及び「総計」ごとに別葉とする。  
 2. トン未満はすべて小数点以下第2位を四捨五入し、第1位まで記載すること。  
 3. 「消費者への販売分」又は「7年度自己使用数量」がある場合は、別紙様式6付表1にそれぞれ別葉で内訳を記載すること。

**【記載例】報告実績が無い場合**

令和7年度 塩販売数量等報告書

東京 税関長 殿

**在庫、輸入、販売実績全て無し**

登録番号：東京税関長第 〇〇〇号

塩特定販売業者名： 株式会社カスタム

[種類： ]

(単位：トン)

科目		原産国					合 計	
6 年度末在庫数量								
7 年度受入数量								
7 年度販売数量	塩卸売業者への販売分							
	塩製造業者への販売分							
	塩事業センターへの販売分							
	消費者への販売分 (小売店への販売も含む) ⇒内訳を別紙様式6付表1へ	一般消費者 (生活用)						
		業務用消費者	食品工業用					
			工業用					
			ソーダ工業用					
			融氷雪用					
	その他							
	計							
その他	輸 出							
	減 耗							
	そ の 他							
	「その他」の内容を記載⇒							
合 計								
7 年度自己使用数量 ⇒	内訳を別紙様式6付表1へ							
7 年度末在庫数量								

在庫、輸入、販売実績が無い場合、このように記載(選択表示)。ここにカーソルを合わせて右側の下向きボタンをクリック  
「在庫、輸入、販売実績全て無し」が表示される

- (備考) 1. 種類は、「関税有税品」(例：精製塩等)、「関税無税品」(例：原塩等)及び「総計」ごとに別葉とする。  
2. トン未満はすべて小数点以下第2位を四捨五入し、第1位まで記載すること。  
3. 「消費者への販売分」又は「7年度自己使用数量」がある場合は、別紙様式6付表1にそれぞれ別葉で内訳を記載すること。

「消費者(小売店)への販売分」がある場合、関税有税品・無税品の欄に内訳を記載。

令和7年度 用途別販売数量内訳

消費者への販売分 (小売店への販売を含む)  
 7年度自己使用数量

※ 黄色網掛け箇所のみ入力。

登録番号 : 東京税関長第 〇〇〇号

塩特定販売業者名 : 株式会社カスタム

東京 税関長 殿

※表題のチェック欄は、作成する内容に印を付けること。また、数量の記載要領は、別紙様式6と同様とすること。

(単位:トン)

原 産 国		イタリア						合 計				
種 類	関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計
生活用	8.4		8.4									
食品工業用	漬物											
	みそ											
	醤油アミノ酸											
	水産											
	調味類											
	パン・菓子	1.6		1.6						1.6		1.6
	加工食品	2.5		2.5						2.5		2.5
	その他											
「その他」の内容を記載⇒												
計	4.1		4.1							4.1		4.1
工業用	染料・顔料											
	化学薬品											
	皮革											
	油脂											
	イオン交換剤											
	その他											
「その他」の内容を記載⇒												
計												
ソーダ工業用												
融氷雪用												
その他	家畜用											
	医薬用											
	その他	0.5		0.5						0.5		0.5
「その他」の内容を記載⇒												
計	0.5		0.5							0.5		0.5
合計	13.0		13.0							13.0		13.0

※ 用途別分類表で、それぞれの種類に含まれる品物を例示していますので、ご確認ください。その他に分類する場合は、下段の「その他の内容を記載⇒」又は余白に内容を記載すること。

「自己使用数量」がある場合、関税有税品・無税品の欄に内訳を記載。

令和7年度 用途別販売数量内訳  消費者への販売分（小売店への販売を含む）  
 7年度自己使用数量

※ 黄色網掛け箇所のみ入力。

登録番号 : 東京税関長第 〇〇〇号

塩特定販売業者名 : 株式会社カスタム

東京 税関長 殿

※表題のチェック欄は、作成する内容に印を付けること。また、数量の記載要領は、別紙様式6と同様とすること。 (単位:トン)

原 産 国		イタリア						合 計				
種 類	関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計
生活用												
漬物	0.2		0.2							0.2		0.2
みそ	0.0		0.0							0.0		0.0
食品工業用	醤油アミノ酸											
	水産物											
	調味料											
	麺類											
	パン・菓子											
	加工食品											
	その他											
	「その他」の内容を記載⇒											
計	0.2		0.2							0.2		0.2
工業用	染料・顔料											
	化学薬品											
	皮革											
	油脂											
	イオン交換剤											
	その他											
	「その他」の内容を記載⇒											
計												
ソーダ工業用												
融氷雪用												
その他	家畜用											
	医薬用											
	その他											
	「その他」の内容を記載⇒											
計												
合計	0.2		0.2							0.2		0.2

※ 用途別分類表で、それぞれの種類に含まれる品物を例示していますので、ご確認ください。その他に分類する場合は、下段の「その他の内容を記載⇒」又は余白に内容を記載すること。

**【記載例】特殊用塩の報告実績がある場合**

# 令和7年度 特殊用塩特定販売数量等報告書

東京税関長 殿

報告様式第2面分類表から選択。

報告様式第3面区分表から選択。

**※ 黄色網掛け箇所のみ入力。**

登録番号 : 東京税関長第 〇〇〇号

塩特定販売業者名 : 株式会社カスタム

(単位: トン)

用途	区分	原産国	期首在庫数量	輸入数量	販売等数量	期末在庫数量	備考
医薬用	4-1	フランス	10.5	34.5	35.5	9.5	
生活用	4-7	メキシコ	0.0	1.5	1.5	0.0	A食材店への直売 (試験的販売)
菓子・パン用	4-7	メキシコ	0.0	2.5	2.0	0.5	B菓子店への直売 (試験的販売)

同一の塩でも用途が異なる場合には分けて記載。

期首在庫数量+輸入数量-販売等数量=期末在庫数量。自動計算されます。

区分が4-7(試験的販売)の場合は、限定販売先、販売経路を記載。

(備考) 1. トン未満についてはすべて小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位まで記載すること。  
 2. 区分及び用途については、第2面及び第3面の記載事項を参考に記載すること。  
 3. 区分が4-7となる場合は、備考欄に限定販売先、販売経路等を具体的に記載すること。

## Q&A（塩特定販売業者）

事業者様からいただいた主な質問について Q&A 形式にまとめましたので、報告書作成の際参考にしてください。

Q. この報告なら昨年末に報告済みですが？

A. 昨年 12 月は事業者様の予測に基づく令和 8 年度（令和 8 年 4 月～令和 9 年 3 月）の「見込み」数量の報告をお願いしました。今回は令和 7 年度中の輸入、販売等実績に基づいた「確定値」の報告をお願いします。

Q. 登録番号が分かりません。

A. 登録完了後お渡しした登録済通知書の中ほどにある「東京税関長第〇〇〇号」、また今回郵送で使用した封筒の宛名ラベル下段に登録番号が記載されています（登録済通知書右上にある「東関第〇〇〇号」ではありませんのでご注意ください。）。登録番号が不明の場合は担当までお問い合わせ下さい。

Q. 「塩卸売業者」とはどういう業者ですか？

A. 「塩卸売業者」は塩事業法第 2 条に規定されています。皆様から買い受けた塩を使用することなく、そのままの状態での事業者や消費者に販売する業者さんです。

Q. 見込（実績）が全くないわけではないが、在庫、輸入、販売した塩がそれぞれ全て 50kg に満たない場合「見込（実績）なし」（空欄での報告）の扱いになりますか？

A. 全く無しか、もしくは 50 kg に満たない数量があるかを、当方で判断する必要がございます。つきましては、実績がない項目は空欄で報告、50 kg に満たない実績がある場合には「0.0」と入力（記載）のうえ、報告をお願いいたします。

Q. 他社（商社等）が輸入した塩を国内で購入しており、自社で輸入した塩はありません。国内で購入した塩のみを使用している場合、報告は「実績なし」になりますか？

A. そのとおりです、実績なしで報告してください。報告の必要があるのは、自ら又は他の者に委託して輸入した塩についてです（「委託して輸入」とは単に輸入行為のみ委託することです。）。

Q. 輸入した塩が有税品か無税品か分かりません。

A. 輸入の際の輸入許可書等をご確認をお願いいたします。

Q. 塩の在庫も輸入、販売等の実績もありません。どのように報告書を作成すればいいですか？

A. 別紙様式 6 上段にあるセルのプルダウンリストから「在庫、輸入、販売実績全てなし」を選択してください。

Q. 特定販売業者が特殊用塩を輸入・販売等した実績があった場合、どのように報告すればよいですか？

A. 輸入等した塩の性質・用途等を考慮して、特殊用塩に該当する場合、別紙様式 6 付表 2 に用途、輸入数量等を記載の上、提出してください。